



SKYLINE

GT  
R

*M.spec*Nür

*V.spec***II**Nür

Just 500 Only.

限定500台



写真はニュルブルクリンクにおける開発時のテスト車両。

# Thanks to You. Thanks to Nür. Thanks to RB26.

**GT-Rを愛してくれているすべての方へ、感謝の気持ちを込めて。**

GT-R M・spec Nür/GT-R V・specII Nür。この2つの限定車は、R34 GT-Rのファイナルエディションである。すでに報道されたように、R34 GT-Rは2002年8月をもって生産を終了する。1989年にR32から始まった2nd Generation GT-Rは、ここにひとつの時代の幕を閉じる。GT-Rは、ドライビングというスポーツに対して情熱的とも言えるほどの想いを抱く人々にこよなく愛されてきた。恐らく、GT-Rオーナーほど熱烈なドライバーは他にありません。それはGT-Rを丹精込めて造り上げてきた私たちにとって、ベストセラーになること以上の喜びであった。そうした感謝の気持ちを、私たちはR34 GT-Rのファイナルを飾るにふさわしい特別なGT-Rを仕立てることで、具体的なカタチとしたいと考えた。当然のことながら、単に装備を追加しただけのモデルでは、誰にも納得していただけないだろうし、あまりにもGT-Rらしくない。ファイナルエディションは、究極のドライビングプレジャーの実現を目指して走り続けてきたGT-Rの伝統と技術、そしてコンセプトを具現化するモデルでなければならないだろう。その結果生まれたモデルは、特殊なスペックゆえに500台のみの限定生産とせざるを得なかったが、そこに込めた私たちの気持ちは、GT-Rオーナーだけに限らず、すべてのエンスージアストにお届けするものに他ならない。

**GT-R M・spec Nür/GT-R V・specII Nürというネーミング。**

この限定車の仕様をご紹介する前にまず、なぜ「Nür」という名前を与えたのか、という点を話そう。「Nür」とは、すなわちNürburgring=ニュルブルクリンクを意味する。R32に始まった2nd Generation GT-Rは、常にニュルを徹底して走り込むことを重要なメニューとして開発に組み込み、パフォーマンスを鍛え上げてきた。レースで勝利するポテンシャルを持つこともGT-Rの大きなテーマではあったが、走ることを通じてドライバーに湧き上がる喜びを提供することこそ、GT-Rの最大の目的である。1周20km以上、コーナー数180以上、高低差約300m、無数のブラインドコーナー、幾つものジャンピングスポット、そして高いアベレージスピード…通常のサーキットにはあり得ないさまざまな難所を持つニュルは、サーキットというより世界で最も過酷な公道テストコースである。単なる速さだけでなく、ドライビングすること自体の喜びを追求するGT-Rにとって、ここを走り込むこと、ここで納得いく走りを実現することは絶対条件であった。さらに、ニュルは世界の名だたる自動車メーカーの多くがテストのために巡礼に訪れる、いわば聖地でもある。このような

場所でテストを行うことによって、GT-Rは国産車という枠にとらわれることなく、世界屈指のハイパフォーマンスマシンへと成長することができた。ニュルを10年・1000ラップ以上走り込んできた2nd Generation GT-Rにとって、この地はまさに第二の故郷と言えるほどの存在なのである。R34 GT-R最後の限定車に「Nür」と名付けたのは、GT-Rを鍛え続けてくれたニュルに対する感謝と畏敬の念を示したいという気持ちからであった。

**究極のドライビングプレジャーの原動力、RB26DETT。**

ATTESA E-TS、ヨーレイトフィードバック電動SUPER HICAS、高剛性ボディ、アドバンスドエアロシステム…2nd Generation GT-Rに投入された数々のテクノロジーの中でも、そのポテンシャルを最も象徴しているのは、やはりRB26DETTエンジンであろう。1st Generation GT-RのエンジンS20が、プロトタイプマシンR380から継承したユニットであったように、当時のグループAレースでの常勝を目標に開発された2.6L 6気筒DOHC 24バルブのRB26DETTエンジンもまた、生まれながらにレーシングスペックそのものの垂涎のメカニズムを誇った。その活躍はグループAをはじめ、N1耐久/スーパー耐久選手権、そしてGT選手権(JGTC)などの国内レースのみならず、ル・マン24時間やスパフランコルシャン24時間、ニュルブルクリンク24時間など海をも越え、幾多の栄光と感動をもたらした。そして、高性能ユニットであることを実感させる独特のエキゾーストサウンド、背中をシートに押しつける強力無比なパワー、8000rpmまで軽く吹け上がるレスポンスとスムーズさ。そのどれもが2nd Generation GT-Rにとって必要不可欠のものであった。今回のファイナルエディションの最大のポイントは、このRB26DETTエンジンにある。

**GT-R M・spec NürとGT-R V・specII Nür、2タイプの仕様。**

ファイナルエディションは、GT-R M・specベースとGT-R V・specIIベースの2タイプを用意している。この両車の違いは、GT-R M・specがフラットライドコンセプトから生まれたリップルコントロールショックアブソーバー™を装着し、耐久レースマシンの性格を持っているのに対して、GT-R V・specIIはカーボン製エンジンフードまで採用した生粋のタイムアタッカー的性格を持っていることである。GT-Rが目指す、究極のドライビングプレジャーの実現へ向けた2つのアプローチとして、どちらも欠かせない存在であることから、両タイプともに設定した。なお、限定500台という生産台数は、両タイプを合わせた数である。



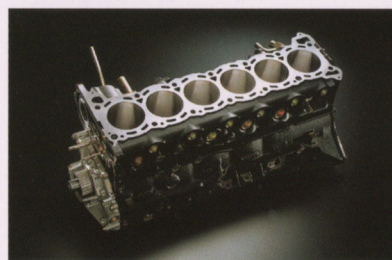
## Limited Final Edition of the 2nd Generation GT-R.

ゴールドヘッドカバーを持つ、N1仕様スペシャルエンジンに込めたこだわり。

GT-RにレースのためのホモロゲーションバージョンとしてN1仕様というモデルがあったことは、ご存知のことと思う。では、N1仕様をドライブしたことは？ほとんどの答えは“NO”であろう。事実、これまで一般の路上を走るために販売されたN1仕様は数えるほどしか存在しない。GT-R M・spec Nür/GT-R V・specII Nürは、このN1仕様のエンジンを搭載している。N1仕様とは、R32時代に始まったグループAよりさらに改造範囲の狭いレギュレーションを持つN1クラスの競技に出場するためのベースエンジンである。チューンナップのために変更できる部分はほとんどないにもかかわらず、GT-RのN1仕様は330kW(約450PS)にまでパワーアップされ、N1耐久そして後のスーパー耐久レースを通じ50連勝という記録を打ち立てた。標準GT-Rエンジンとの最も大きな違いはツインターボチャージャーのタービン材質を、セラミックから、レースでの想像を絶する過酷な使用条件に備え、メタル製に変更している点である。軽量のセラミック製タービンが通常走行におけるレスポンスを重視したものであるのに対し、メタル製タービンは低回転時のピックアップにはやや劣るものの、いったん高回転域に入れば、まさにレース直系のパワーフィーリングを体感できる。その他にも強化シリンダーブロックや強化ピストンなど、極度の信頼性が求められる耐久レースで、そのまま使用できるよう考慮されている。GT-R M・spec Nür/GT-R V・specII NürではこのN1仕様をベースに、さらにファイナルエディションならではのこだわりを込めた独自のアイテムを厳選して投入した。それは、ピストンやコンロッドというエンジン中心部分の品質精度をさらに向上させることで重量ばらつきを減らし、手作業によるレースチューンのような精度を実現していることである。これにより、RB26DETTの持ち味である高回転域での痛快なパワーフィーリングはいちだんと高まった。ヘッドカバーをゴールドにしたのは、限定車だけのスペシャルエンジンの証である。標準GT-Rエンジンとも、N1仕様ともひと味違う走りは、まさに500人だけのオーナーのものである。



高回転域でレース直系のパワーフィーリングを発揮する、メタル製タービンを採用したツインターボチャージャー。



レースにおける330kW(約450PS)～440kW(約600PS)へのパワーアップを前提として強化されたN1専用シリンダーブロック。



部品重量ばらつきを高精度に管理し、高回転域のパワーフィーリングに磨きをかけたピストン/コンロッド。



フルスケール300km/hまで刻み込んだスピードメーター。タコメーターは3000rpmでビッチが変わる2段表示式を採用している。

フルスケール300km/hメーター、限定車専用ボディカラー。

「200km/hオーバーで高度なパフォーマンスを発揮するクルマなら、100km/h以下の走りで期待を裏切られることはまずない」これはGT-Rの開発ドライバーの言葉である。ニュルはブラインドカーブだらけのテクニカルコースであるが、いくつかの200km/hオーバーのシーンと1500mを超える長いストレートも含まれている。もちろんGT-Rの性能が最高速だけで語れる訳ではない。しかし、GT-Rのニュルにおける開発テストは、当然のことながらその持てるポテンシャルにいつさいのリミットを設けることなく行われる。このためスケール表示も性能相応のものが必要となり、300km/hまで目盛りが刻まれたメーターがセットされている。GT-R M・spec Nür/GT-R V・specII Nürでは、ニュルにおけるGT-Rの開発テストの臨場感を感じていただくために、このフルスケール300km/hのメーターを採用した。GT-Rのポテンシャルをすべて解放して走る時の、必須のアイテムという訳である。もうひとつ、GT-R M・spec Nür/GT-R V・specII Nürのための限定アイテムとして「ミレニアムジェイド」というボディカラーをバリエーションに加えた。ニュルの深い森の緑を映し込んで輝くグリーンをイメージしたカラーリングで、これもまた私たちのニュルへの想いを示す選択である。GT-Rに、いままでにない個性を与えることができたと思う。

### 限定車専用仕様一覧 (ベース車GT-R M・spec/GT-R V・specII)

●限定車専用N1仕様エンジン [N1専用ツインボールベアリングメタルターボチャージャー/N1専用強化仕様シリンダーブロック/N1専用強化仕様+限定車専用ピストン(高精度重量バランス品)/N1専用ピストンリング(低フリクション品)/限定車専用コンロッド(高精度重量バランス品)/N1専用オイルポンプ(リリーフ圧変更)/N1専用ウォーターポンプ(専用羽根形状、吐出力アップ)/N1専用エキゾーストマニホールド(ターボ側フランジ部通路面積拡大)/N1専用エアホース(補強系二重構造化:インタークーラー〜ターボ間ホース2本)/限定車専用色ゴールド(シカプレス)シリンダーヘッドカバー(カムカバー、プラグカバー、タイミングベルトカバー)] ●限定車専用フルスケール300km/hスピードメーター ●限定車専用立体グレードエンブレム(クローム調仕上げ) ●限定車専用ボディカラー/ミレニアムジェイド(M) (#JW0)



# EQUIPMENT

■スカイラインGT-R M・spec Nür / GT-R V・spec II Nür主要装備一覧

	車種	GT-R M・spec Nür	GT-R V・spec II Nür
視界	UVカット断熱グリーンガラス(フロントドア)	●	●
	UVカットグリーンガラス(フロントガラス)	●	●
	プライバシーガラス(UVカット断熱機能付)(リヤサイドガラス・リヤガラス)	○	○
	キセノンヘッドランプ(ロービーム)	●	●
	リヤフォグラブ	●	●
	広角ドアミラー	△	△
	超撥水ウインドウシステム	(注1) △	△
	電子制御パワーステアリング	●	●
	運転席まわりシート	●	●
	室内装備	3本スポーク本革巻ステアリング(ホーン部GT-Rエンブレム付)	●(ゴールドステッチ付 ファイングリップタイプ)
	本革巻シフトノブ&本革巻パーキングブレーキレバー	●(ゴールドステッチ付)	●(シルバーステッチ付)
	オゾンセーフフルオートエアコン(デジタル表示、外気温度表示機能付)	●	●
	マイクロガードビュートロン	△	△
	マルチファンクションディスプレイ(5.8インチワイド液晶モニター+車両状況表示機能)(表示項目は下記参照★)	●(9項目表示)	●(9項目表示)
	フルスケール300km/hスピードメーター	●	●
	2段表示式タコメーター	●	●
	アルミヘアライン調コンソール&コンビメーターフィニッシャー	●	●
	ステンレスパネル付キッキングプレート	●	●
	アルミ製アクセル、ブレーキ、クラッチペダル、フットレスト	●	●
	GT-R専用モノウォームバケットシート(助手席ウォークイン機構付)	●(本革・GT-R刺繍入り)	●
	前席ヒーター付シート	●	●
	パワーウインドウ(運転席はワンタッチ、キーオフ後作動、挟み込み防止機構付、耐水タイプ)	●	●
	GT-R専用デザインキー	●	●
	リモートコントロールエントリーシステム(キー別体ホルダタイプ)(作動確認機能付)	●	●
	盗難防止装置(エンジンイモビライザー、カーアラーム)	●	●
オーディオナビゲーション	CD一体AM/FM電子チューナーラジオ(80W、4スピーカー)	●	●
	TV/ナビゲーションシステム(DVD方式) テレビ/ハードビュー®+音声ガイド付ナビゲーションシステム、ビデオ端子付	●	●
	FM多重放送(VICS・文字多重放送)、専用オーディオ:IDINタイプMD・CD一体AM/FM電子チューナーラジオ、120W、6スピーカー、MD・CDオートチェンジャー対応機能付	(注2) ○	○
	VICS(ビーンコ)対応キット	(注3) △	△
	コンパリンク対応アダプター	(注3)(注4) △	△
	N°FITナビゲーションシリーズ(DVD方式他)	△	△
	オーディオレス	(注5) ○	○
	角度調整機構付2段式リヤスポイラー(可変水平翼部はアルミ製)	(注6) ●	●
	アドバンスドエアロシステム(フロントディフューザー&カーボン製リヤディフューザー)	(注7) ●	●
	カーボン製インタークーラーエアガイド	△	△
スーパーファインハードコート	●	●	
立体グレードエンブレム(クローム調仕上げ)	●	●	
メカニズム	N1仕様エンジン(ツインボールベアリングメタルターボチャージャー・ピストン/コンロッド限定車専用高精度バランス品)	●	●
	GETRAG社製6速マニュアルトランスミッション	●	●
	LUK社製ダンパー付フライホイール	●	●
	水冷式オイルクーラー	●	●
	ニモスボーツエンジンオイルクーラー(空冷式)	△	△
	brembo社製4輪アルミキャリパー 対向ピストンブレーキ	●	●
	brembo社製4輪ベンチレーテッドディスクブレーキ(リヤ:N1仕様大径ブレーキ)	●	●
	ATTESA E-TS PRO(アクティブLSD統合制御4WD)	●	●
	GT-R M・spec専用チューニングサスペンション(リップルコントロールショックアブソーバー&リヤスタビライザー)	●	●
	GT-R V・spec II専用ハードチューニングサスペンション	●	●
ヨーレイトフィードバック電動SUPER HICAS	●	●	
フロントブレーキ冷却ダクト	●	●	
フロントブレーキ導風板	●	●	
アルミ製エンジンフード	●	●	
カーボン製エンジンフード	●	●	
タイヤ	245/40ZR18タイヤ(ポテンザRE040)	●	●
ホイール	18×9JJ鍛造アルミロードホイール(専用GT-Rエンブレム付センターキャップ)	●	●
安全	運転席・助手席SRSエアバックシステム	●	●
	運転席・助手席SRSサイドエアバックシステム	○	○
	ABS(アンチロックブレーキシステム)	●	●
その他	前席ロードリミッター付プリテンションシートベルト	●	●
	寒冷地仕様(ワイパーデアイサー、ヒーター付電動格納式リモコンカラードドアミラー、寒冷地用高性能バッテリー、寒冷地仕様クランク、強化ヒーター)	●	○

全車標準装備 ●フロント無段開けつワイパー ●フロントワイパーフーン ●リヤ開けつワイパー ●ドアメーカー(ランプ式) ●熱線リヤウインドウ(タイマー式) ●電動格納式リモコンカラードドアミラー ●油圧計 ●液晶オド・ツイントリップメーター ●チルトステアリング ●マブラブ ●デジタル時計 ●キー運動室内照明システム ●集中ドアロック ●ヘッドランプ消し忘れ警報 ●キー抜き忘れ警報 ●グローブボックスランプ ●助手席バニティミラー ●フロントカップホルダー(リッド付2個) ●クルーズコントロール(車線維持機能付) ●抗腐仕様(ステアリング、シフトノブ、パーキングブレーキ) ●リヤガラスアンテナ ●FMダイバーシティ ●フロントスポイラー ●サイドシルプロテクター ●ステンレスデュアルテールチューブ ●4輪マルチリンクサスペンション ●フロント&リヤストラットタワーバー ●フロント&リヤスタビライザー ●スベアタイヤ(応急用) ●前席テンションリデュサー ●ELR付3点式シートベルト ●後席ELR付3点式シートベルト ●チャイルドシート固定機構付シートベルト(後席) ●運転席シートベルト非着用時警告灯 ●サイドドアビーム ●ハイマウントストップランプ(トランクリッド組込)

●「メーカーオプション」はご注文時に申し添えます。メーカーの工場で作るため、ご注文後にお受けできませんのでご了承ください(注1)フロントウインドウ、フロントウインドウ+フロントドアガラス、のいずれかからお選びいただけます。(注2)MD・CDオートチェンジャー対応機能はMDまたはCDオートチェンジャーを装着しない場合には作動しません。(注3)TV/ナビゲーションシステム装着車またはN°FITナビゲーション(ディーラーオプション)装着車のみお選びいただけます。(注4)別添、携帯電話が必要となります。ただし、電話の種類によっては接続できない場合があります。また、「コンパリンク」サービスのご利用には「コンパリンク」への入会手続きが別途必要となります。(注5)オーディオレス車はリヤガラスアンテナ、FMダイバーシティ、フロント&リヤスピーカーグリル、ハーネスが装備されています。(注6)ハイマウントストップランプはトランクリッド組込みとなります。(注7)フロントおよびリヤディフューザーは緑石や段差の大きな場所では路面などと干渉する場合がありますので、ご注意ください。  
★マルチファンクションディスプレイ表示項目 (●)スロットル開度、(○)インジェクター開弁率、(△)過給圧、(◇)エンジン油温、(■)電圧、(□)エンジン水温、(▽)フロントトルク、(◇)吸気温、(▽)排気温

表示の緑文字は新室内快適性能「インナーグリーン」の装備です。

## M.spec Nür



ミレニアムジェイド(M) (#JWO) (特別塗装色) 限定車専用色

## V.spec II Nür



スパークリングシルバー(M) (#WV2)

## BODY COLOR

	ミレニアムジェイド(M) (#JWO) (特別塗装色) 限定車専用色	ペイサイドブルー(M) (#TV2) (カラークリアーコーティング・特別塗装色)	シリカプレス(RPM) (#EYO) (特別塗装色)	ホワイトパール(3P) (#QX1) 特別塗装色	ホワイト(#QM1)	スパークリングシルバー(M) (#WV2)	ブラックパール(#GV1)
GT-R M・spec Nür	●	●	●	●	●	●	●
GT-R V・spec II Nür	●	●	●	●	●	●	●

内装色はすべてブラック(G)。 (M)はメタリック、(RPM)はマルチフックカラー、(3P)は3コートパールの艶。ボディカラー及び内装色は撮影条件等から、実際の色と異なって見えることがあります。

# SPECIFICATIONS

■スカイラインGT-R M・spec Nür / GT-R V・spec II Nür主要諸元

車種	GT-R M・spec Nür / GT-R V・spec II Nür
車名型式	ニッサンGF-BNR34
寸法	全長×全幅×全高 mm: 4600×1785×1360 室内寸法 長×幅×高 mm: 1780×1400×1105 ホイールベース mm: 2665 トレッド 前/後 mm: 1480/1490 最低地上高 mm: 130
重量・定員	車両重量 kg: 1580 (GT-R M・spec Nür) 1560 (GT-R V・spec II Nür) 乗車定員 名: 4 車両総重量 kg: 1800 (GT-R M・spec Nür) 1780 (GT-R V・spec II Nür)
性能	最小回転半径 m: 5.6 燃料消費率 10・15モード(国土交通省審査値) km/L: 8.1
諸装置	クラッチ形式: 油圧操作式ダイヤフラム(フル式) 減速機歯車形式: ハイボイドギヤ ステアリング形式: パワーアシスト付ラック&ピニオン式(ヨーレイトフィードバック電動SUPER HICAS付) 駆動方式: ATTESA E-TS PRO(アクティブLSD統合制御4WD) 懸架方式 前: 独立懸架マルチリンク式 後: 独立懸架マルチリンク式 主ブレーキ 前: ベンチレーテッドディスク対向4ピストン型 後: ベンチレーテッドディスク対向2ピストン型 駐車ブレーキ: 機械式後2輪制動 タイヤ 前・後: 245/40ZR18

●燃料消費率は定められた試験条件のもので値です。実際の走行時の気象・道路・運転・整備などの条件により燃料消費率は異なってきます。  
●本諸元のモード走行時における燃料消費率の表示はすべて「10・15モード」です。

## ■エンジン主要諸元

型式	RB26DETT
種類・シリンダー数	水冷直列6気筒・DOHC
シリンダー内径×行程 mm	86.0×73.7
総排気量 L	2.568
圧縮比	8.5
最高出力 kW(PS) /rpm	206(280) /6800
最大トルク N・m(kg) /rpm	392(40.0) /4400
燃料供給装置	ニッサンEGI(ECCS)電子制御燃料噴射装置
使用燃料・タンク容量	無鉛プレミアムガソリン・65L

## ■変速比・最終減速比


トランスミッション	GETRAG社製6速マニュアル
変速比	第1速 3.827 第2速 2.360 第3速 1.685 第4速 1.312 第5速 1.000 第6速 0.793 後退 3.280
最終減速比	3.545


●本車間には無鉛プレミアムガソリンをご使用ください。なお、無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下等の現象が発生します。

本車間には「使用燃料」に記載されている燃料をご使用ください。指定以外の燃料をご使用になると、不具合が発生する恐れがあります。尚、指定以外の燃料をご使用になったために発生した不具合は無償保証の対象とはなりませんので、ご注意ください。

〈SI単位換算値〉従来の出力単位「PS」およびエンジントルク単位「kgm」からSI単位への換算値は次のとおりです。なお、数値は整数単位までとし、小数点第1位を四捨五入します。1PS=0.7355kW 1kgm=9.80665N・m  
●このカタログのエンジン出力表示はすべて「ネット値」です。エンジン出力表示にはネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車約15%程度低い値(自工会調べ)となっています。

お問い合わせはスカイライン取り扱い販売会社、または下記フリーコール（携帯・PHSも対応）へどうぞ。

「お客様相談室」月～金  0120-315-232  
（祝日を除く） 9:00～12:00 13:00～17:00

土曜日曜祝日のお買物相談は  
「日産インフォメーションセンター」土・日・祝  0120-838-232  
9:00～12:00 13:00～16:00

スピードおさえで、いい運転。  
シートベルトとチャイルドシートを忘れずに。

- このカタログの内容は2002年1月現在のものです、仕様ならびに装備は予告なく変更することもあります。
- ボディカラーおよび内装色は、印刷インキや撮影条件などから、実際の色と異なって見えることがあります。

日産自動車株式会社

〒104-8023 東京都中央区銀座6丁目17番1号

[www.nissan.co.jp](http://www.nissan.co.jp)

F4250-2011AAC